

アバナードによる調査で、AI 失業の懸念は小さいが、スキル不足が明らかに

- グローバルの経営陣および IT リーダーの 64%が、2024 年には組織における人力の職務数が AI 導入によって維持または増加すると考えており、その大多数は従業員数が最大 9%増加すると予測している。
- 従業員が生成 AI を活用できるようになるには、新たなスキル、もしくは全く新しいスキルセットが必要になると回答したのは、グローバルでは 63%だった。
- 日本では 88%が、競争力を維持するためには、1 年以内に AI ファーストの経営モデルに移行する必要があると回答している。

【2024 年 2 月 20 日 - 東京発】マイクロソフト ソリューション プロバイダーとして業界をリードするアバナード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 淳一、以下アバナード）は、日本人 300 人を含む経営陣および IT リーダー3000 人以上を対象とした新しいグローバル調査の結果を公開しました。本調査では、AI が組織に与える職場への影響と、AI 拡大に伴う従業員の保護方法が明らかになりました。

全体として、あらゆる職務レベルの従業員が AI に肯定的で、仕事の副操縦士として役立つ可能性に期待を寄せています。2024 年末までには、AI が効率化以上のものを提供し、従業員のクリエイティブなアイデアやイノベーションを奮起させることを期待しています。この「AI が人間の知能を増強する」という考え方は、AI が人にとって代わるという過度な懸念とは相反するもので、全業界の 64%が、2024 年には組織における人力の職務数が AI 導入によって維持または増加すると考えており、その大多数が従業員数は最大 9%増加すると予測しています。

企業や従業員はどの程度 AI 対策ができているのか

日本では従業員の大多数にあたる 97%が、AI とその影響力について楽観的であるという結果が得られました。大多数の従業員は、Copilot for Microsoft 365 のような AI ツールによって、さらに効率的で革新的に、そして仕事への役割を強化するものと期待しています。しかし、従業員にはそうしたツールを使いこなしてメリットを得るだけの能力がまだ備わっていません。雇用主は、目標を達成するためにこうしたツールとそれを利用できる熟練した AI 人材の適切な組み合わせることができていません。組織が AI プロジェクトを成功させるためには、従業員のスキルアップやリスティング、そして継続的な教育への投資が不可欠となります。

- 日本のほぼ全従業員（97%）が、組織と IT チームが AI 拡大のための知識やリソースを備えていることに確信を持っている。
- 日本の従業員の 96%は、組織のリスクマネジメントプロセスが全社的な生成 AI の技術的統合に適していることに確信があると回答している。
- 日本の回答者のおよそ半数（51%）が、2024 年末までに Copilot for Microsoft 365 のような生成 AI ツールを日常業務で活用するためには、新たなスキル、もしくは全く新しいスキル セットの習得が必要であると回答した。
- 従業員の間では全体として楽観的である一方、日本の回答者の 88%は、組織が競争力と顧客の期待値を維持するためには、12 カ月以内に AI ファーストの経営モデルに転換する必要があるとしている。

- 日本のほぼ全ての回答者（95%）は、Copilot for Microsoft 365 のような生成 AI ツールが、1 週間で最大 20 時間、つまり労働時間の半分に影響を与えると予測している。これは、世界平均の 79% よりも高かった。

継続的に価値創造や成長を引き出すためには AI をどのように活用すべきか

企業の大半がデジタル投資を増やして AI 化を促進させていますが、その投資先の優先付けは各業界で異なっており、正確で有用な結果を生み出すための AI の根底が逸れてしまっている傾向が窺えます。

- 非営利団体、公益企業、政府機関は、2024 年のデータおよびアナリティクス プラットフォームへの投資優先順位が最も低かった。これに対し、銀行、小売店、エネルギー企業は、データ プラットフォームを最優先項目とした。
- ワークプレイス プラットフォーム（Microsoft 365 や Teams）とセキュリティ/サイバー レジリエンスの双方が投資先に選ばれる傾向が高かった。IT 部門の従業員らが最も多く挙げたのは、データとアナリティクスプラットフォーム（Databricks や Microsoft Fabric）となり、これはデータとアナリティクスを一元的に統一化するためのもので、2024 年に AI 拡大を実行する上で最優先との回答だった。

「ビジネスおよび IT 部門の幹部陣は AI によるビジネス価値の強化について熱心で、調査結果にも反映されていますが、世界的にも、リーダーや従業員の方からの関心と好奇心の高まりを実感しています」とアバナード最高 AI 責任者である Florin Rotar（フローリン・ローター）は述べています。「効率的な AI 活用のために従業員の対応準備を進めるだけでなく、今こそ、リーダーは AI ファーストの未来へ備えるために、明確に定義された責任ある戦略策定を行っていく必要があります」

本調査の詳細は、[グローバルレポート](#) をダウンロードしてご覧ください。

調査方法

本調査は 2023 年 8 月、アバナードに代わり、McGuire Research Services が実施しました。調査対象となったのは、オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、スペイン、イギリス、アメリカのいずれかに本社を置き、年間売上高が 5 億ドル以上ある、銀行、エネルギー、政府機関、ヘルスケア、ライフサイエンス、製造、非営利、小売、電気・ガス・水道産業の組織に勤務している、年齢 18～65 歳の役職のあるスタッフまたはスペシャリスト、中間管理職、上級管理職、経営幹部 3,000 人です。中間管理職以上の対象者については、自組織の AI 関連の意思決定に関与していることを条件とし、スタッフやスペシャリストについては、自組織の現在の AI 戦略を認識していることを条件としました。回答者に会社名は尋ねていません。この調査では、回答者に英語か母国語のいずれかを選択していただきました。

アバナードについて

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムにおいて、革新的なデジタル、クラウド、アドバイザリーサービス、各業界向けソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを提供するリーディングプロバイダーです。26 カ国、60,000 人のプロフェッショナルなスタッフが、顧客、その従業員、またそのお客様に、素晴らしい体験・影響という “真のヒューマン インパクト” を日々もたらしています。

アバナードは、親会社のアクセンチュアと共に、マイクロソフトの Global SI Partner of the Year を他社よりも多く受賞しています。また、最も多くのマイクロソフト認定資格（60,000 以上）と 18 のゴールドレベルのマイクロソフト技能を持ち、企業の成長と困難な課題の解決を支援する稀有な企業です。私たちは従業員を第一に考え、誰もが自分らしさを発揮できるインクルーシブな職場環境の提供に尽力しています。また、責任ある企業として持続可能な世界を構築し、恵まれない環境にある可能性を持った若者の支援もしています。



アクセンチュアが筆頭株主であり、2000年にアクセンチュアとマイクロソフトによって設立されました。公式 Web サイトは、<https://www.avanade.com/ja-jp> です。

【お問い合わせ】

アバナード株式会社

TEL : 03-6234-0150 Eメール : tokyo@avanade.com

【本件に関する報道関係お問い合わせ先】

アバナード 広報事務局（共同ピーアール株式会社）

担当：栗木、船橋、石谷、伊藤

TEL : 03-6260-4863 Eメール : avanade-pr@kyodo-pr.co.jp

* 記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。